

HDD の取り扱いに関する注意事項

HDD の取り付け、復旧を行う場合、以下に記載してある内容に注意して操作を行ってください。
ここでは、ネットワークディスクレコーダー DG-ND400K/WJ-ND400K を ND400、増設ユニット WJ-HDE400 を HDE400 と記載しています。

< HDD 取り付け時の注意事項 >

以下の処理・操作を行っている場合に HDD を追加すると、ND400、HDE400 は追加した HDD を認識しません。

- HDD の認識処理中
- HDD の取りはずし処理中
- ウェブブラウザでコンフィグログイン中
- ウェブブラウザで測定実施中

対処方法

認識しない HDD を取りはずし、上記の処理・操作が完了した後、HDD を追加してください。
複数台の HDD を追加する場合は、1 台ずつ HDD の認識処理を行ってください。

< RAID5 / RAID6 復旧実施時の注意事項 >

RAID5 / RAID6 復旧中は絶対に電源を切らないでください。データの復旧が正常に行えなくなる場合があります。

以下の操作を行った場合は、RAID5 / RAID6 復旧を開始しません。

- 本機の電源が入っていない状態で故障が発生した HDD (ダウンした HDD) を交換し、電源をいれた場合。
- RAID6 で HDD が 2 台故障したとき (2 ダウン発生)、故障した HDD 2 台を交換し、1 台目の HDD を復旧中に、電源を切り入りした場合。

このとき、1 台目の HDD の復旧は開始されますが、2 台目の HDD の復旧は開始されません。

対処方法

復旧が開始されない HDD を取りはずし、再度 HDD を追加してください。

音声と VMD サーチ使用時の注意事項

音声と VMD サーチを使用する場合、録画カメラ台数と音声を使用する ch 数および VMD サーチを使用する ch 数の合計が 64 以下になるよう録画設定を行ってください。

$$\text{録画カメラ台数} + \text{音声を使用する ch 数} + \text{VMD サーチを使用する ch 数} \leq 64$$

上記制限を超えて設定を行うと、録画画像やライブ画像、アラームなどの取りこぼし、操作性レスポンスの低下、ND400 が再起動するなどの現象が発生する場合があります。

設定の参考値を裏面に示します。

圧縮方式：M-JPEG、画像サイズ：48 kB 相当での参考値

カメラ台数	ライブ配信レート (ips)	録画レート (ips)	音声を 使用する ch 数	VMD サーチを 使用する ch 数	PC 台数
64	5	5	0	0	4
48	5	5	0	16	4
48	5	5	16	0	4
32	5	5	16	16	4

圧縮方式：MPEG4、ビットレート：2 Mbps での参考値、リフレッシュ周期：1 秒

カメラ台数	ライブ配信レート	録画レート	音声を 使用する ch 数	VMD サーチを 使用する ch 数	PC 台数
64	ALL	ALL	0	0	4
48	ALL	ALL	0	16	4
48	ALL	ALL	16	0	4
32	ALL	ALL	16	16	4

※ 測定値は 128 Mbps 以下で使用してください（取扱説明書 設定編参照）

※ PC は 4 画表示の場合の設定です。録画と再生およびライブ配信の合計値は 200 Mbps 以下で使用してください。

※ VMD サーチの設定方法はカメラの取扱説明書をお読みください。

ネットワーク接続に関する注意事項

ND400 と PC、ND400 とカメラとの接続に使用する HUB は、必ずギガビットに対応した HUB を使用してください。

ギガビットに対応していない HUB を使用した場合、録画画像やライブ画像、アラームなどの取りこぼしが発生し、ライブ画像や再生画像が崩れるなどの現象が発生する場合があります。